









虹の橋

天国の入口近くにかかる「虹の橋」。

この世で人間となかよく暮らしていた動物たちは、死を迎えると虹の橋へ向かいます。

虹の橋のたもとでは、自由に満たされた暮らしが約束されていますが

みんな心のどこかに、「とあるひとつの思いを抱えています」。

一緒に暮らした「特別な存在」と会えなくて寂しいのです。

みんなで走り回って遊んでいるときに、

ある一匹が何かが聞こえたように突然動きを止め遠くの丘を見つめました。

目はみるみる輝き、喜びに満ち溢れています。

すると、丘の向こうを目指しまるで小鹿のように跳ねながら

ものすごい勢いで草原を走っていききました。

ずっと会いたいと思いつづけてきた大切な人を見つけたのです。

もう二度と離れないと抱き合い、

大好きだよとあなたの顔中にペロペロとキスをします。

あなたはやさしく頭をなでてあげ、

信頼に満ち溢れたその子の目を覗き込みます。

心はずつとつながっていたこの子へ、もう二度と離れないのだと

一緒に虹の橋を渡っていくのです。

